

目次



宮田工場



苅田工場



小倉工場

目次	01
あいさつ	02
環境理念	03
重点取り組み	04
環境取り組みの状況	05-14
環境経営	15-16
(巻末データ) CO ₂ ・廃棄物・VOC	17

本報告書は2016年度の活動を対象期間としておりますが、一部の項目については対象期間外の活動も含まれます

「社会の一員として共に歩み、 心から信頼される企業へ」

1. 地域社会より信頼される取り組み

・環境リスク未然防止

2. 地球環境保全への取り組み

・低炭素社会の構築に向けた取り組み

・循環型社会の構築に向けた取り組み

・環境保全と自然共生社会の構築

トヨタ自動車九州(株)は「地球環境にやさしいクルマづくり」を目指して、地域社会より信頼される取り組みと地球環境保全を2本柱とし、長期的な活動を進めております。

2015年10月にトヨタ自動車(株)が発表した『トヨタ環境チャレンジ2050』の6つのチャレンジ実現に向け、トヨタグループの一員として2050年を見据えた新たな取り組みを開始しました。設計・開発部門では“新車CO2”“ライフサイクルCO2”、生技・製造部門では“工場CO2”ゼロチャレンジ実現を目指し、新たに社内のCO2低減推進体制を整備し活動を強化しております。2016年度より官民合同プロジェクト「地産地消型グリーン水素ネットワークモデル」事業に参画し、再生可能エネルギーから製造した水素を活用する事業に着手しました。利用時に水だけしか排出しない究極のグリーンエネルギーである水素を活用した先進的な取り組みを今後も拡大し、水素先進地域で事業を営む会社として水素社会構築に向けた役割を果たしていきます。また、その他の再生可能エネルギーの導入検討も積極的に進めます。

また、良き企業市民として持続的に事業活動を展開する上で、自治体・地域とのコミュニケーションを密に図り、『法令順守』『環境異常の未然防止』を最重点とし、地域社会より信頼される取り組みに努めております。

将来の地球環境を守り持続可能な社会を実現する為、一人ひとりが身近な環境課題を『自分の問題』としてとらえ、10年先、100年先の地球環境に想いを巡らせ、持続的成長に向け自ら考え行動していきます。

この報告書を通じ、私たちの環境への取り組みを理解していただくとともに、皆様からの率直なご意見やご指導を頂き、さらなる環境改善に努め、皆様から信頼される企業を目指していきたいと考えております。

環境委員会委員長
常務取締役 橋本克司